

長期交換留学 in U. S. A. -New Jersey, Montgomery

こんにちは。熊野高校3年、倉山朗子です。私は、高校2年の夏から高校3年の夏までの1年間、アメリカ、ニュージャージー州に長期留学をしていました。長期交換留学プログラムを通して私はアメリカに、そして自分と交換で、熊野高校にはアングン・ユルナ・ヌーデシアさんが1年間滞在させて頂きました。

まず初めに、ニュージャージー州モントゴメリーは和歌山県田辺市にとっても似た環境の地であり、通学中には牧場や農場が見え、たくさんの自然とふれあうことができる地域でした。

そのモントゴメリーの中で滞在する中、私が一年間通った Montgomery High School。この学校は全校生徒が2千人程度と多く、とても大きな学校で、また日本でいう中学3年生からこの学校に通い始めます。私がアメリカの学校に通う中、一番大変だったのが友達を作る事でした。最初は全く会話ができず、「あれだけ英会話も習ってきたのに」などと思う事が多く、学校から帰っては辛くて泣いていました。そんな私が、たくさんの友達を作るきっかけになったのが音楽でした。5歳の頃から音楽というものを学び、歌を歌ったり、また中学の頃は3年間吹奏楽部に所属し、クラリネットも学びました。

私が通ったアメリカの学校の授業で、吹奏楽の授業を選択しました。人数がとても多く、この授業を選択した人は最初に1人ずつ実技テストを受けなければなりませんでした。結果、私はクラリネットパートの首席を頂くことが出来ました。首席になってから、周りの子達が「日本語教えて!」「日本に行ってみよう!」と、話しかけて来てくれました。音楽をやっていなかったら、友達を作るきっかけも無かっただろうし、こんなに楽しく留学生活を送ることも出来ていなかったと思います。

3軒目のホストファミリーに、小学2年生のホストシスターがいたのですが、ホストシスターが通っている小学校に何回もお邪魔させて頂き、日本について、また和歌山県田辺市についてのプレゼンテーションをさせて頂きました。親善大使として、アメリカの小学生やアメリカの学校の生徒・先生方に日本の素晴らしさや日本の美しさを伝えることが出来ました。

他にも、コンサートで「何か歌ってほしい!」と言われ、日本の国歌と日本の歌を披露しました。私が歌い終わった時、観客の人が「素晴らしい歌声を聞かせてもらった。そしてありがとう。」と、泣きながら言って下さいました。私は、外国の方が日本語の意味が分からなかったとしても、音楽は国境を越えても繋がる事が出来るんだと、改めて感じました。

最後に、熊野高校の皆さんに伝えたいことがあります。英語が好きだけど留学するのは怖い、英語なんか出来ないから無理、このような考えを持つ人はいませんか？確かに海外に行くためには、多少の英語力が必要です。また、海外は治安が悪いいろいろな問題を抱えてるし、行ったらどうなるか…と、不安になる人もいます。私も最初は挫折を味わい、怖くて不安で泣いてばかりでしたが、最初は辛いからこそ後から良い事が起こるんだと実感しました。また、1人で海外へ旅立つことで、自分の親へのありがたみが本当によく分かります。1人で留学するからこそ、1人で海外へ旅立つからこそ、自分自身でしか得られないものがたくさんあると思います。もし海外に行く時は、自分の好きな事や得意な事を作っておくべきだと思います。留学する事で、自分の人生や世界観が変わります。私も実際に留学して、本当に自分自身が変われたと思いました。もし、海外に興味がある人、留学したいと考えている人がいたら、ぜひ声をかけて下さい！

最後に、この1年間のアメリカ留学は、私にとってとても貴重な体験、そして成長できたものであり、この留学を通してたくさんの経験を得ることが出来ました。皆さんのご支援、お力添え、本当にありがとうございました。

“It’s OK to NOT KNOW, It’s not ok to NOT TRY.”

→知らなくても大丈夫、挑戦(努力)しないのはよくない。

